

看護技術の教育方法に関する研究

岡本, 陽子
九州大学医療技術短期大学部

高間, 静子
金沢大学医療技術短期大学部

<https://doi.org/10.15017/104>

出版情報 : 九州大学医療技術短期大学部紀要. 6, pp.25-30, 1979-03-25. 九州大学医療技術短期大学部
バージョン :
権利関係 :

看護技術の教育方法に関する研究

岡本陽子*・高間静子**

On a Method of Nursing Education

Yoko Okamoto and Shizuko Takama

1. はじめに

看護技術教育は、技術を中心にして、教室と臨床現場で行われ、そのカリキュラムは各医療技術短期大学部において多様である。科学に基づく知識と技能を習得させるのに最も効果的な教育方法は何か。それを明らかにするために、カリキュラムの著しく異なる、金沢大学医療技術短期大学部と九州大学医療技術短期大学部の学生の、教室と病院での技術学習に着目してその教育方法を比較検討した。

2. 対象と方法

調査対象は、九州大学医療技術短期大学部看護

学科3年生60名と金沢大学医療技術短期大学部看護学科3年生53名であった。

昭和52年3月、全看護実習終了の時期に、別紙調査表に記載してある看護の基礎技術157項目について調査した。調査表は表2に示したように、教室と病院で、学生が基礎技術をどのように学習したかを大きく6項目に分類したものである。それらのデータ結果と正確記憶数との関係を追究した。

3. 結果

九大学生と金大学生の教室内での、技術の教授方法件数は表1に示した通りである(表1)。

表1 各技術の教授方法件数

	教師のデモンストレーションを見学させた	練習させた	無学習
九 大	6 9	6 5	2 3
金 大	2 4	6 0	5

九大学生60名、金大学生53名が、教室内と病院で学習した技術を学習方法別にみた結果は表2

に示す通りであった(表2)。

* 九州大学医療技術短期大学部
** 金沢大学医療技術短期大学部

看護技術の教育方法に関する研究

表2 調査表の結果データ

		九 大 (n=60)	金 大 (n=53)
教 室 内	デモンストレーション学習	46.67 ± 29.11	14.56 ± 15.62
	練習した	49.95 ± 12.80	52.58 ± 10.49
	無学習	60.28 ± 31.36	21.98 ± 17.94
病 院 内	見学した	21.35 ± 9.07	16.81 ± 9.67
	実施した	101.02 ± 14.88	67.57 ± 12.40
	無体験	34.03 ± 11.46	72.49 ± 14.72
正確な記憶数		75.96 ± 15.52	82.09 ± 15.77 ※

x ± S. D.

※有意差あり

九大学生と金大学生の技術項目の正確記憶数をt-testすると、両医療技術短期大学部学生の記憶数には有意の差があった。両医療技術短期大学部で、教師が行ったデモンストレーションに対して、学生が教室内でデモンストレーション学習をしたと記憶しているのは、九大学生67% (46.67/69) であり、金大学生は60% (14.56/24) であった。教室内で練習した技術項目に対する記憶数は、九大学生76% (49.95/65) であり、金大学生は87% (52.58/60) であった。無学習と記憶している技術項目数は、九大学生は実際に教えていない技術項目数の2.62倍 (60.28/23) であり、金大学生は4.39倍 (21.98/5) であった。

4. 考 察

表1にみられるように、九大と金大ではカリキュラムが著しく異なる。九大の特徴は、教室内でデモンストレーションが多いが、無学習、すなわち教えていない技術項目が多い。また、病院での技術の実施が多い。これに対して金大は、デモンストレーションが少なく、教室内での技術項目の授業、演習が多いけれども病院での技術の実施は少ない。したがって、金大学生は九大学生に比して無体験が多い。

技術の正確記憶数を比較してみると、金大の方が平均値が高く、その差は推計学的に有意であることは、学習程度の高さの違いから生じる

ことが考えられ¹⁾、今後追究すべき問題である。デモンストレーション学習の記憶数は、両医療技術短期大学部とも約60%と低く、標準偏差の大きいことは、デモンストレーションの効果は少ないのではないかと思われる。これに対して、練習した技術項目の記憶数は76%~87%で高く、標準偏差も小さく、可成り記憶に残っていると思われる。九大は、病院実習の時間数が金大よりも多く、実習でよく憶える技術教育をし、金大は、授業時間数が多く、授業で憶える教育を行っているとも考えられる。

技能教育では、技術についての論理的思考の陶冶と実践的能力の育成のため、技術の実践活動の過程に教育的価値が在る²⁾。看護技術を著しく異なるカリキュラムで教育した場合、一体、将来看護婦として看護をする場合に、どちらの教育がよいかは今後の問題である。

5. ま と め

九州大学医療技術短期大学部看護学科3年生60名、金沢大学医療技術短期大学部看護学科3年生53名について、看護の基礎技術の学習項目表を作成して調査した。その結果、両医療技術短期大学部学生の技術の記憶数には有意差がみられた。九大では、主として実習を通して教育し、金大は、授業による教育法が特徴であった。デモンストレーション教育というのは意外に記憶に薄いことが分った。看護技術教育における

岡 本 陽 子 高 間 静 子

病院実習の教育的価値を増大させるために、病院実習での教育方法を更に検討したい。

引用文献

- 1) 学習理論研究グループ編：学習心理学，川島書店，P.139，昭和43.
- 2) 細谷俊夫：教育方法，第二版，岩波書店，P.204，1976.

看護技術の教育方法に関する研究

調 査 表 (1)

技 術 項 目	実習室における学習程度		臨床実習場での学習程度			
	教師がするデモンストレーションの見学のみ	実際に練習した	学習していない	見学体験をした	患者に実際に実施した	体験しなかった
1. 全身清拭（部分清拭も含む）						
2. ケリハートによる洗髪						
3. 洗髪車による洗髪						
4. 含嗽のさせ方						
5. 仰臥位での歯みがき						
6. 口腔の処置						
7. 咽頭への薬液塗布						
8. 洋式便器の貼用方法						
9. 和式便器の貼用方法						
10. ゴム便器の貼用方法						
11. 尿器の貼用方法						
12. 便器の消毒方法（ホッパーンでの）						
13. 便器の消毒方法（薬液による）						
14. 女性の導尿						
15. 男性の導尿						
16. 女性の留置カテーテル						
17. クリセリン洗腸						
18. 石鹼洗腸						
19. 着物の着脱						
20. 体位変換（仰臥位から側臥位へ）						
21. 体位変換（側臥位から仰臥位へ）						
22. 体位変換（側臥位から腹臥位へ）						
23. 体位変換（腹臥位から仰臥位へ）						
24. 身体の移動（ベッドの頭方への移動）						
25. 身体の移動（ベッドの足もとへの移動）						
26. シーツを使ってベッドからストレッチャーへの移動						
27. ストレッチャーからベッドへの移動						
28. ベッドから手押車への移動						
29. 手押車からベッドへの移動						
30. ストレッチャーによる移送（平らなところ）						
31. ストレッチャーによる移送（坂の場合）						
32. 担架による移送（坂や階段の上り下り）						
33. 看護婦一人でベッドからストレッチャーに移す方法						
34. 看護婦二人でベッドからストレッチャーに移す方法						
35. 呼吸測定						
36. 肺活量測定						
37. 酸素吸入（経鼻法）						
38. 酸素テントによる酸素吸入						
39. ネブライザーによる吸入方法						
40. 蒸気吸入の方法						
41. 血圧測定（聴診法）						
42. 血圧測定（触診法）						
43. 脈拍測定						
44. EKGの介助						
45. 体温測定（口腔法）						
46. 体温測定（腋か法）						
47. 体温測定（直腸法）						
48. 湯たんぽの貼用（金属性のもの）						
49. 氷枕貼用						
50. 水のうの前額への貼用						
51. 氷嚢の貼用						
52. 温湿布						
53. 冷湿布						
54. ハップ剤貼用						

岡本陽子 高間静子

調 査 表 (2)

技 術 項 目	実習室における学習程度			臨床実習場での学習程度		
	教師がするデモンストレーションの見学のみ	実際に練習した	学習していない	見学体験をした	患者に実際に実施した	体験しなかった
55. 食事介助						
56. 胃管栄養法						
57. 皮内注射の準備と実施						
58. 皮下注射の準備と実施						
59. 筋肉注射の準備と実施						
60. 静脈注射の準備と介助						
61. 採血						
62. 点滴注射の準備と介助						
63. 耳だ採血の準備と実施						
64. ガウンテクニック（隔離病室や未熟児室等）						
65. 剃毛						
66. 基本包帯（5つ）						
67. 一時吸引						
68. 持続吸引						
69. 巻綿子のまき方						
70. ガーゼのたたみ方						
71. 綿球の作り方						
72. ガラス物品等の煮沸消毒法						
73. メス・刀物等の煮沸消毒法						
74. ゴム製品等の煮沸消毒法						
75. 絹糸の消毒方法						
76. ガーゼの未消毒・消毒の区別						
77. ガーゼのさばき方						
78. 麦粒鉗子の操作方法						
79. タンポンガーゼ挿入時の介助						
80. 消毒綿球の医師への渡し方						
81. 手洗の方法						
82. 手術室でのカウンテクニック						
83. 手術室での清潔介助						
84. シムス位のさせ方						
85. 膝胸位のさせ方						
86. トレンデレンブルクの体位のさせ方						
87. 下位懸垂位のさせ方						
88. 截石位のさせ方						
89. フアラーの体位のとらせ方						
90. 腹帯のつくり方						
91. 腹帯のさせ方						
92. T字帯の作り方						
93. T字帯のさせ方						
94. 三角布の腕への使用方法						
95. 絆創膏のはり方						
96. 水薬の準備と服与のさせ方						
97. 散薬の準備と服与のさせ方						
98. 錠剤の服与のさせ方						
99. カプセル剤の服与のさせ方						
100. すいのみを用いての飲ませ方						
101. 体温計振り下げ器の使い方						
102. 腹囲測定						
103. 胸囲測定						
104. 身長測定						
105. 座高測定						
106. 体重測定						
107. 頭囲測定						
108. 聴診時の介助方法						

看護技術の教育方法に関する研究

調 査 表 (3)

技 術 項 目	実習室における学習程度			臨床実習場での学習程度		
	教師がするデモンストレーションの見学のみ	実際に練習した	学習していない	見学体験をした	患者に実際に実施した	体験しなかった
109. 腹部触診時の介助方法						
110. 膝蓋腱反射をみる時の介助						
111. ベット・メーカー						
112. 術後患者用のベットメーカー						
113. ベット掃除						
114. ギャッチベットの操作						
115. バックレストの使用法						
116. 離被架の使用法						
117. 死後の処置						
118. ゴム製品の手入れの方法						
119. 金属製品の手入れの方法						
120. ガラス製品の手入れの方法						
121. 鏡のついている医療器械の消毒方法						
122. ガウン・手術着の消毒方法						
123. 寝具の消毒方法						
124. 採血用注射器の消毒方法						
125. 手洗水の作り方						
126. 手術室での手洗水の交換のしかた						
127. 舌鉗子の使い方						
128. 開口器の使い方						
129. 人工呼吸のしかた						
130. 蘇生器の使い方						
131. プレメデケーション（前投薬）のしかた						
132. 鼻のかみ方						
133. 臍の垢のとり方						
134. 歯肉のマッサージ方法						
135. 耳垢の除去方法						
136. 眼拭のしかた						
137. 結髪						
138. つめの切り方						
139. 入浴介助						
140. 坐浴のさせ方						
141. 坐薬の挿入のしかた						
142. 排尿後の外陰部の拭き方						
143. 大人（女）のおむつの貼用方法						
144. 大人（男）のおむつの貼用方法						
145. 円坐の作り方						
146. 上・下肢の抑制方法						
147. 上半身の抑制方法						
148. 全身の抑制方法						
149. 人工排気の方法						
150. 摘便（便摘出）						
151. 滅菌ゴム手袋の着用方法						
152. 軟膏塗布のしかた						
153. 夜間巡視時の懐中電燈の使い方						
154. 血沈の準備と実施						
155. 尖尾の子防方法						
156. 輸血の準備と介助						
157. 円坐のあて方						